

世界へはばたけ！

マンガで知る

青年海外協力隊

マガンダン ハポン！

**Magandang
hapon!**

「マガンダン ハポン！」は
フィリピン語で「こんにちは！」という
意味で、フィリピンの国語です。







憧れを抱き続けた

以来わたしは
青年海外協力隊に



やったー!

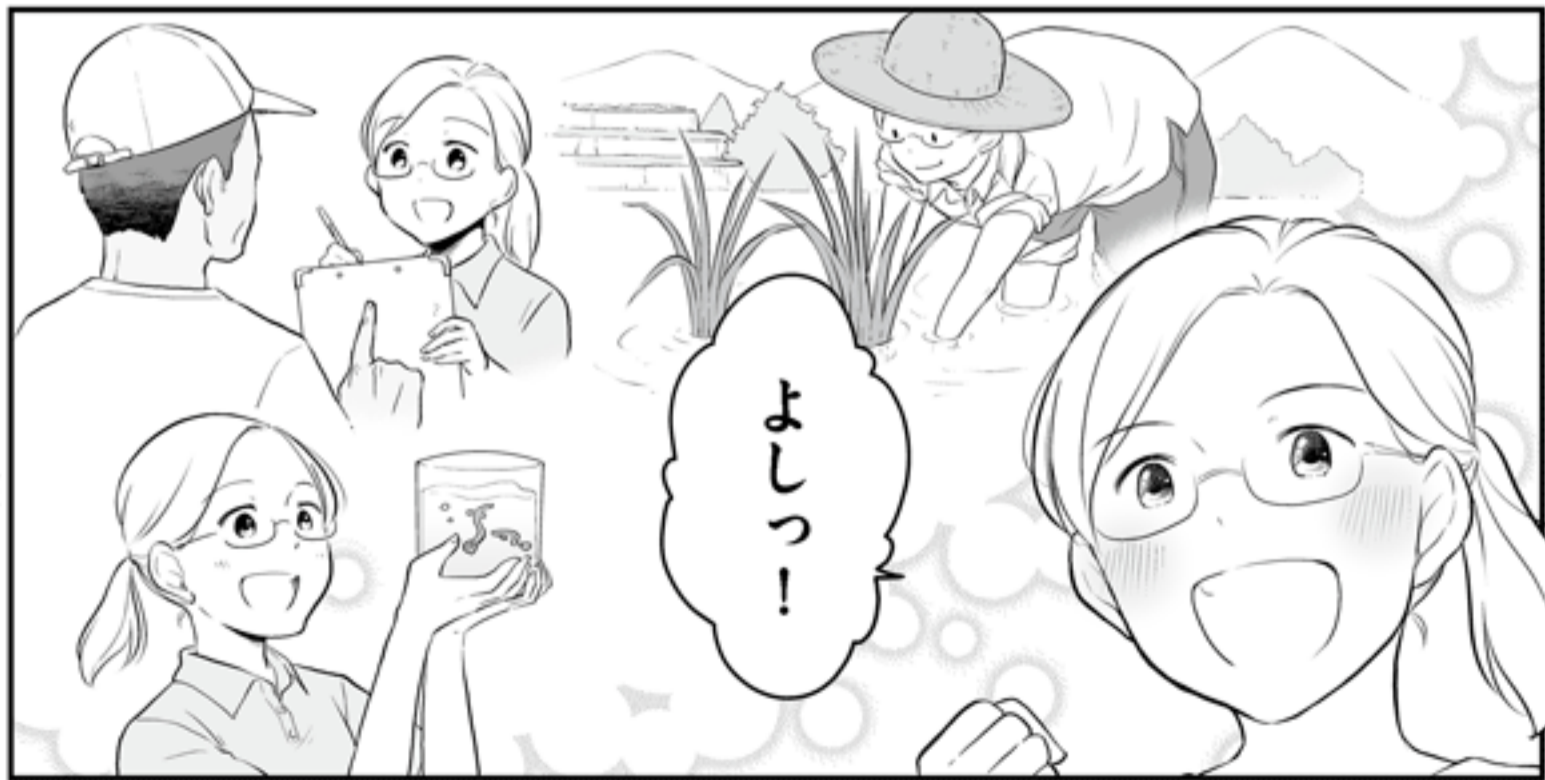


高校・大学で養殖について
学び、ついに念願の
青年海外協力隊に応募した



フィリピンの棚田※で
淡水養殖※かあ...

※棚田：山間部などの傾斜面に、階段状につくられた水田のこと。
フィリピン・イフガオ州の棚田は、1995年に世界遺産に
登録されたことがある。



よっっー!

※淡水養殖：河川・湖沼の水や地下水を
利用して行う養殖のこと。

※ASEAN(東南アジア諸国連合)・・・主に経済や政治などで協力関係にある
東南アジア10カ国の組織のこと。

全部で約7100の島からなる
フィリピン共和国
面積は日本の8割ほど
人口は約1億人
ASEAN(東南アジア諸国連合)※
加盟国の一つで
主な宗教はキリスト教なの

ルソン島
マニラ

農業が盛んで
ココナッツの生産量は
世界第2位なんだって※
わたしが赴任したのは
そんなフィリピンの中でも
最も面積の大きな島ルソン島!

※2016年時点

ここはルソン島にある
フィリピンの首都マニラから
車で9時間ほどかかる農村

標高1000メートルの
山岳地帯には美しい
棚田が広がっているの

おもな産業は農業!
人々は山肌に棚田をつくり
稲作を営んでいるんだって!

ドジョウは僕らの
大好物なんだ

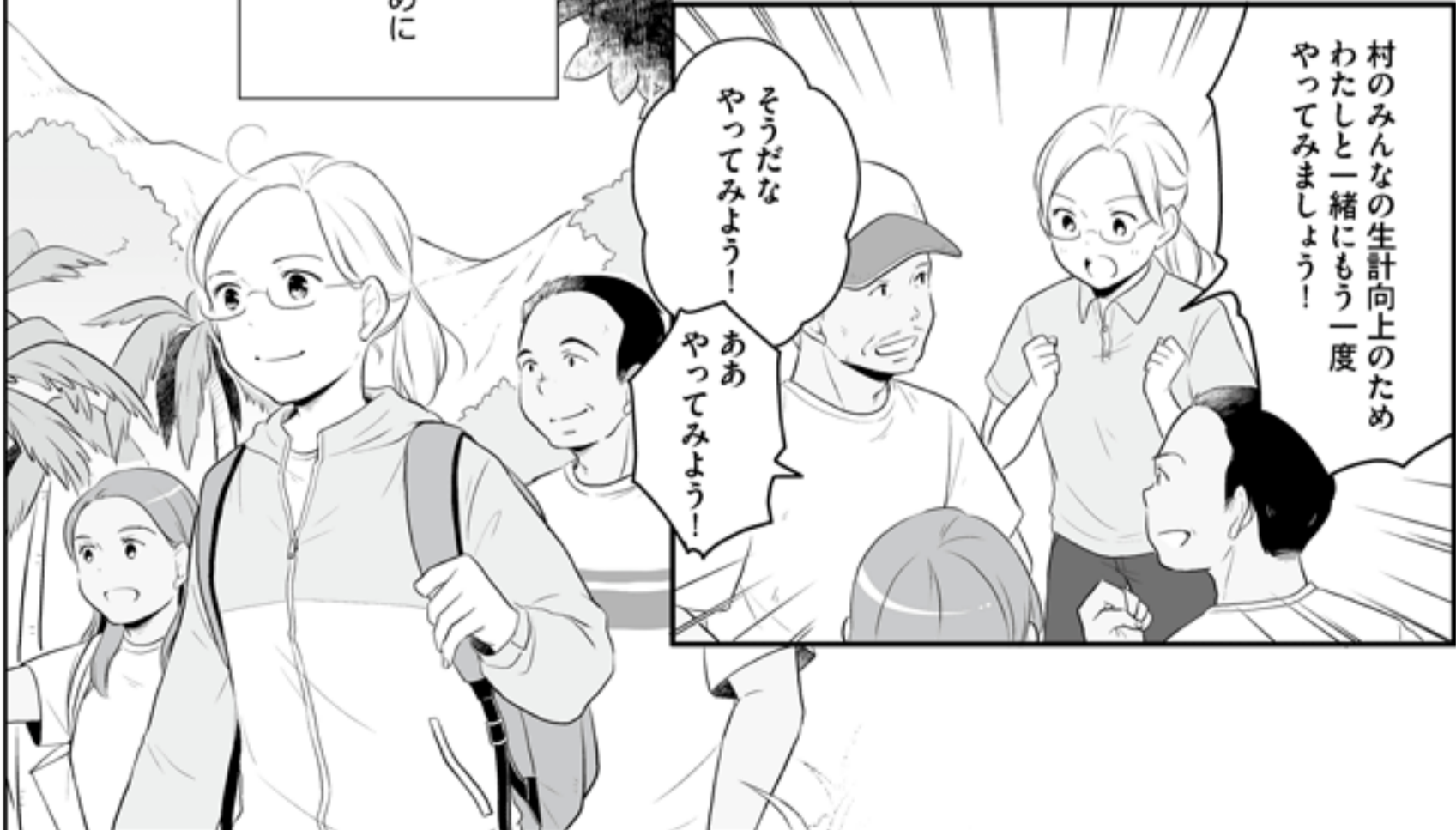
あドジョウ!

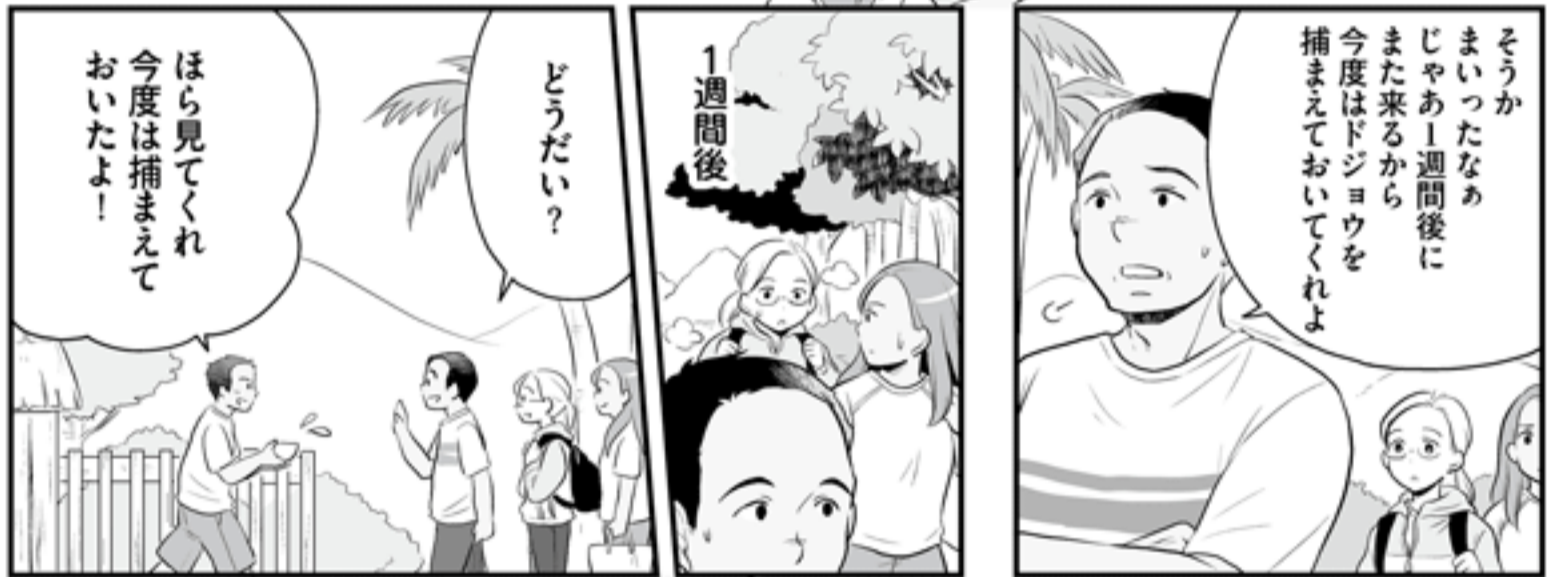
ここがわたしの
フィールドかあ

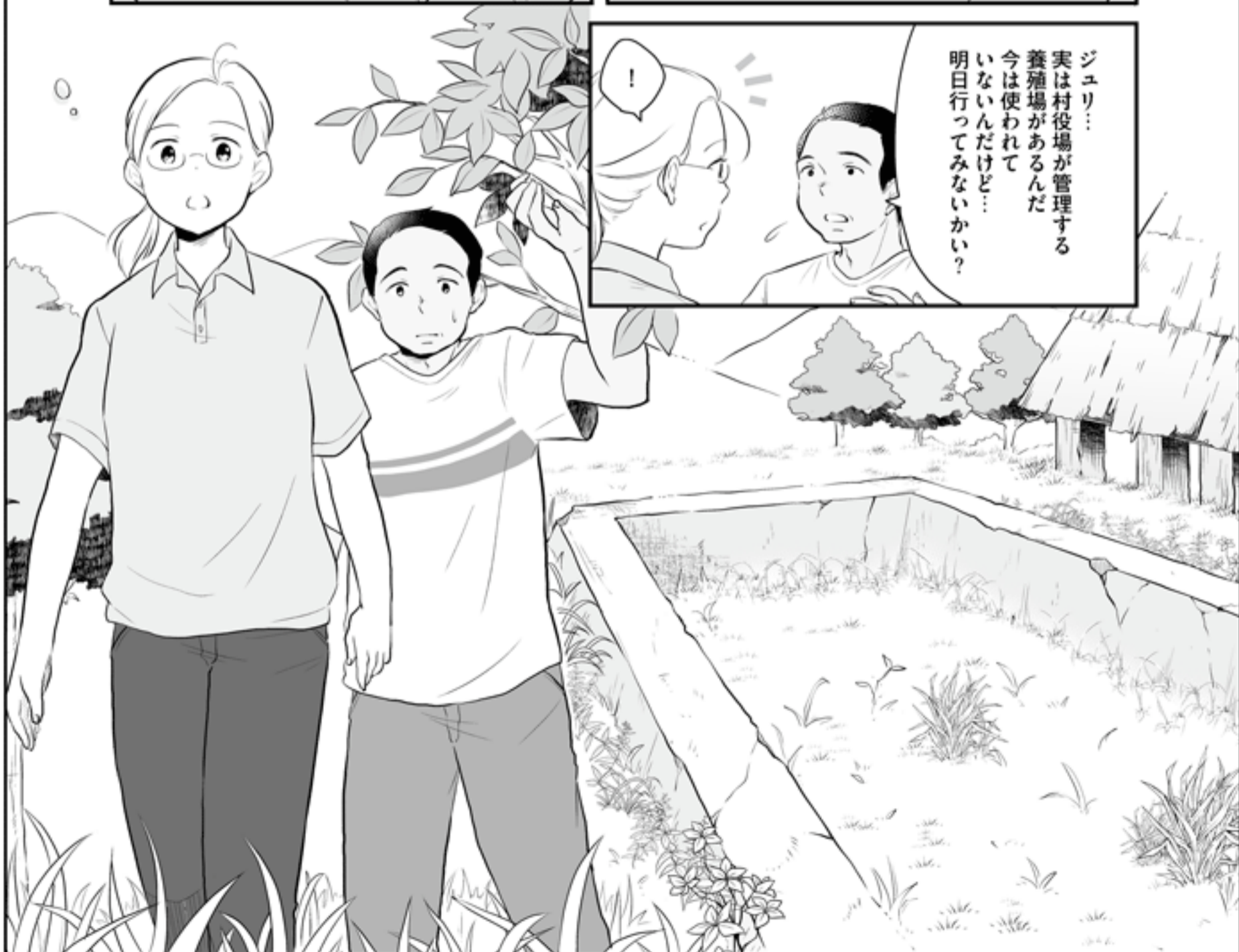
ドジョウ博士の ママちいき!



こうしてドジョウの
養殖プロジェクトがスタート!
まずはドジョウの養殖を始めるために
親となるドジョウを遠くの村まで
捕りに行くことに









—— そして ——





赴任から2年後

失敗することもあるけど大きく育つドジョウもいるね

ああ！これからはドジョウを売っていくこともできる

ドジョウ養殖で僕らの収入を増やしていこう！



そう、だよね…

大丈夫 僕らだけでも やっていきけるさ

ドジョウを売って 収入を得られるのは もう少し先の話… 生き物相手の仕事は やっぱり時間がかかる 2年じゃ足りない…

う、うん…

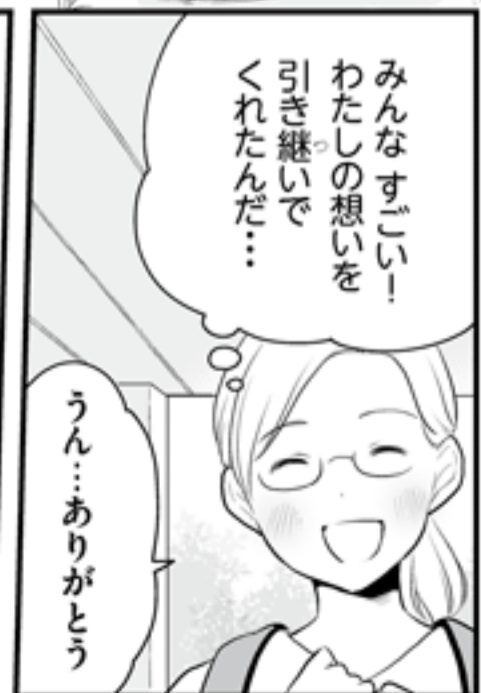
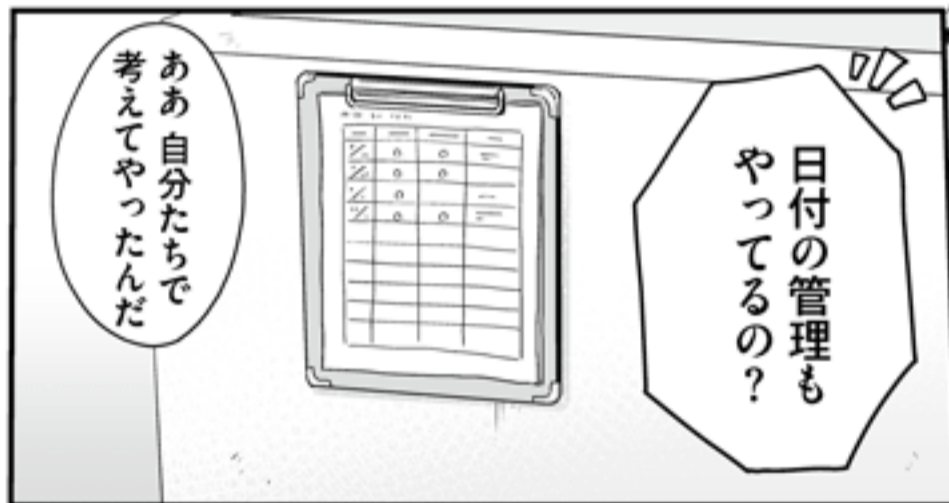
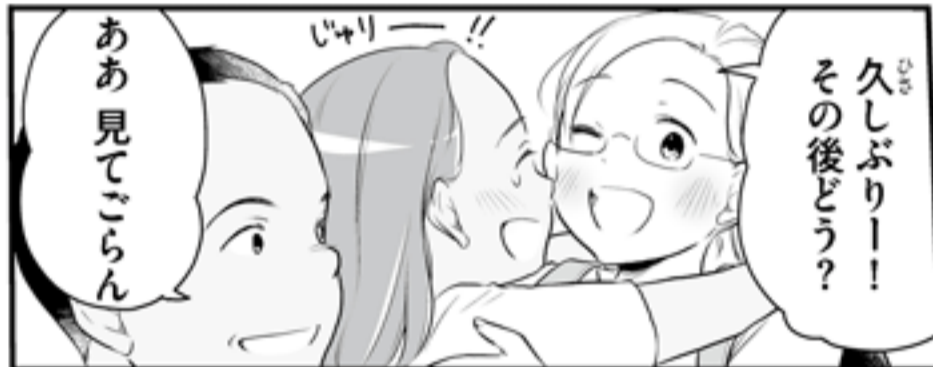
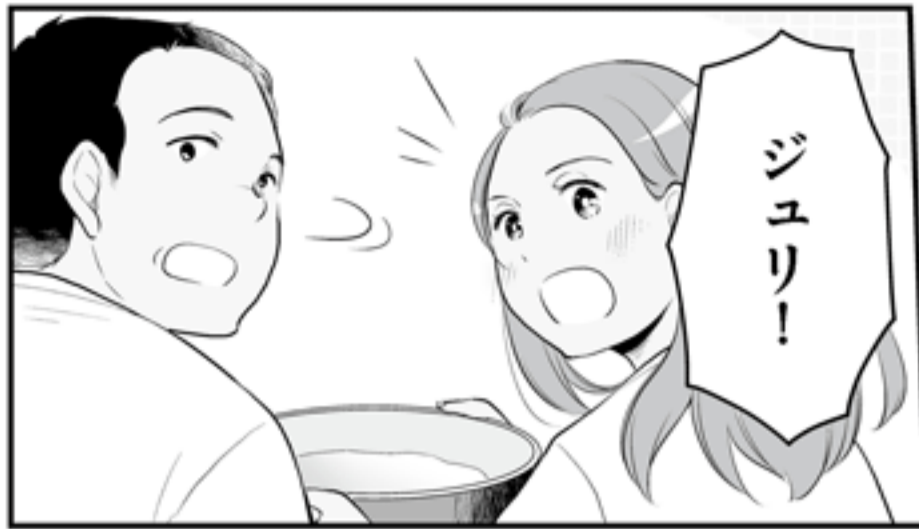
ジュリもそろそろ 帰国しちゃうけど この調子なら きっと大丈夫だな

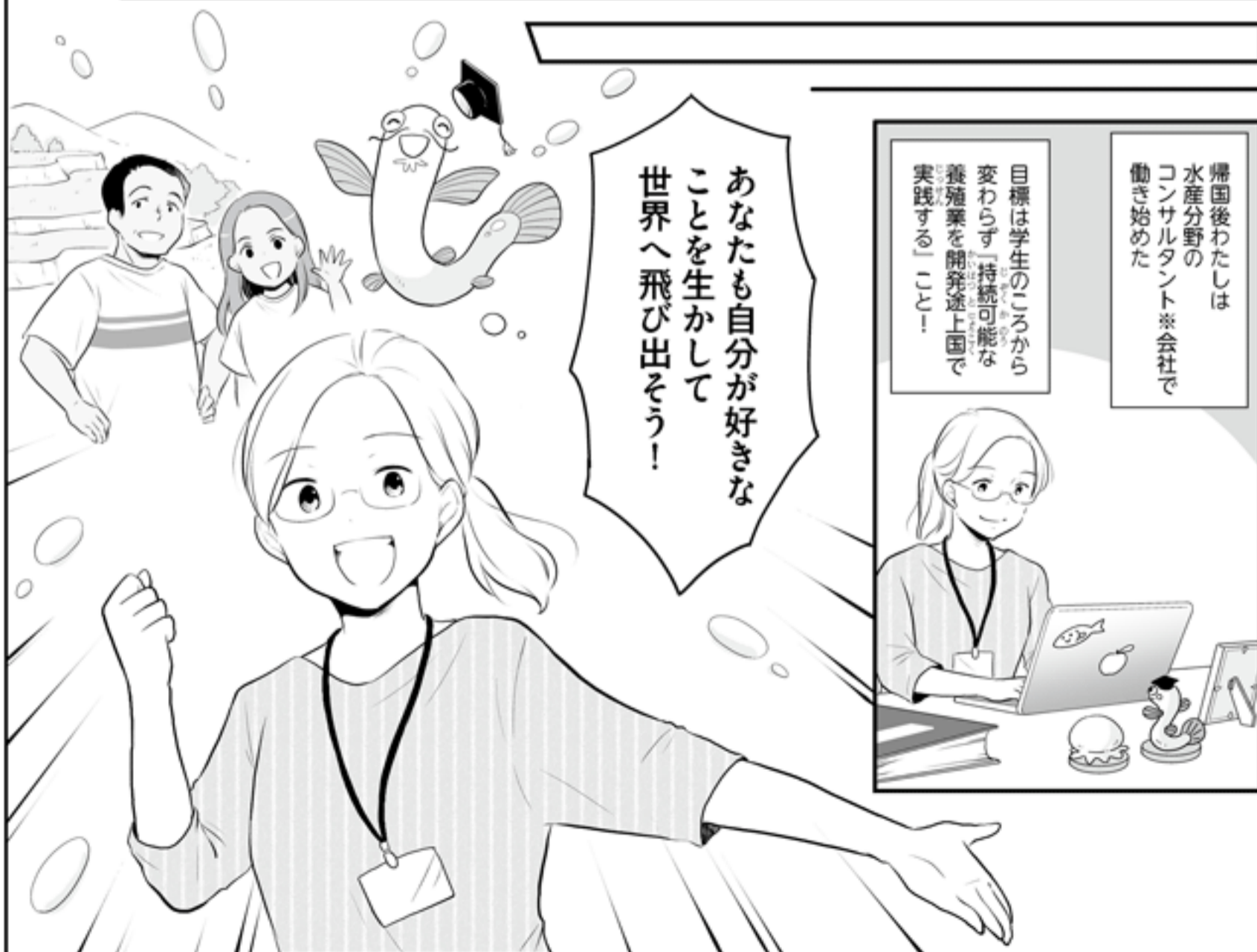


半年後



いったん日本に 帰国し半年たって わたしはまた フィリピンで活動を 続けることに…





※コンサルタント…開発途上国を支援するためのさまざまなプロジェクトにおいて指導や助言を行う専門家のこと。



JICA海外協力隊ウェブサイトで他のストーリーも読めます！

<https://www.jica.go.jp/volunteer/manga/>

検索



※本誌に掲載されている内容はJICA海外協力隊ウェブサイト「JICA海外協力隊の人とシゴト」のインタビュー記事を元に作成しており、マンガ内の表現等は、JICAの公式見解を示すものではありません。